

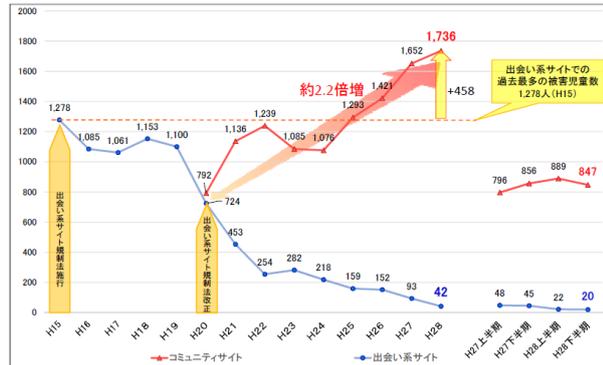
# 平成28年におけるコミュニティサイト等に起因する事犯の現状

## ～平成29年4月20日付警察庁広報資料より～

### 1 被害児童数の推移

- コミュニティサイトに起因する事犯の被害児童は1,736人。平成20年以降、増加傾向が継続しており、**過去最多の被害児童数**
- 出会い系サイトに起因する事犯の被害児童は42人。平成20年の出会い系サイト規制法の改正以降減少傾向にあるところ、事業者による年齢確認、書き込み内容の確認強化等により更に減少

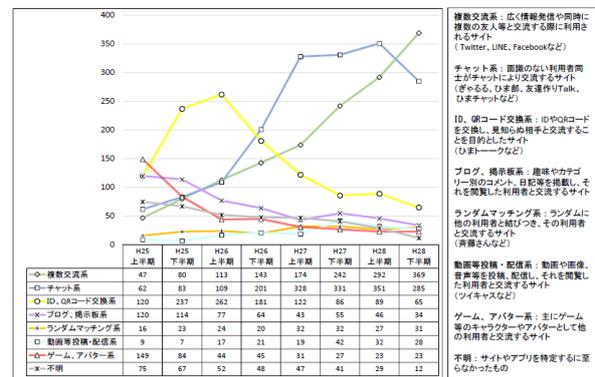
コミュニティサイト及び出会い系サイトに起因する事犯の被害児童数の推移



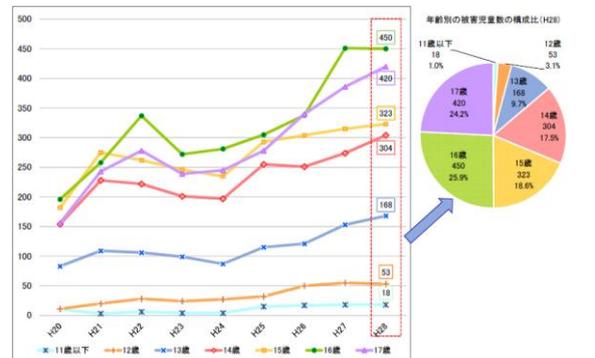
### 2 コミュニティサイトにおける被害児童の状況

- サイト種別では、「複数交流系」での被害児童数が大幅に増加、「チャット系」に代わり最多
- 14歳以上の被害児童数が多い。特に16歳、17歳の被害児童数の増加傾向が顕著
- 被害児童のコミュニティサイトへのアクセス手段は、約9割がスマートフォン利用
- 被害児童が被疑者と会った理由では、「金品目的」や「性的関係目的」といった援助交際に関連する理由が4割強
- フィルタリングの利用の有無が判明した被害児童のうち約9割がフィルタリングを利用せず
- インターネット利用等に関して、学校で「指導を受けたことはない」と回答した児童は1割未満。他方で「覚えていない」と回答した児童が約半数

主なコミュニティサイト種別の被害児童数の推移



年齢別の被害児童数の推移(コミュニティサイト)



《「平成28年におけるコミュニティサイト等に起因する事犯の現状と対策について」(警察庁)を加工して作成》  
(<http://www.npa.go.jp/cyber/statics/>)

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課 鈴木

電話：0776-20-0745 (直通) メール：kenan@pref.fukui.lg.jp